

株式会社横浜アリーナ

第35期 事業報告

2019年 4月 1日から
2020年 3月31日まで

— 目次 —

- 1) 事業報告
- 2) イベント分野別稼働実績

事業報告

2019年4月 1日から
2020年3月31日まで

株式会社横浜アリーナ

1. 事業の経過および成果

2019年度の業績については、コンサート需要が引き続き堅調であったこと、既存競合施設の改修工事による休業があったこと、および戦略的かつ能動的なスペースコントロールなどにより、稼働日数は336日、稼働率は91.8%の受注となりました。ところが新型コロナウイルス感染症の影響により、期末にかけてイベントが開催できない事態が発生し（開催されなかったイベントの日数合計は31日）、また国および横浜市からイベント自粛要請があったことや、他施設等の状況も鑑み、前納されていた基本使用料金を全額返済する措置を取りました。当期の来場者数は、約204万人となり、1989年4月の開業からの来場者数は累計で約5,179万人に達しました。

また、施設の安全安心に向けた取り組みを継続すると同時に、PSI(Positive and Speedy with Integrity)プロジェクトを中心に、2015年度に策定したコーポレートメッセージ「その思い、つながる。」をはじめとする企業理念・ミッション等の浸透策・アクティブな企業風土の実現に向けた取り組みや、広報活動、および地域に根差した活動を、前期に引き続き実施してまいりました。

さらに、2019年4月に開業30周年を迎え、記念事業を各ステークホルダーに感謝の気持ちを伝えると共に、「ブランド力」のPRや「チャレンジ」の機会として捉え、企画・準備を全社一丸となって進めてまいりました。

経営成績につきましては、売上高が2,668百万円(前期2,811百万円、対前期5.1%減)、売上原価は1,012百万円(前期1,026百万円、対前期1.4%減)、販売費及び一般管理費は386百万円(前期338百万円、対前期14.2%増)となりました。

これらにより当期の損益は、営業利益1,270百万円(前期1,446百万円、対前期12.2%減)を計上し、経常利益は1,299百万円(前期1,472百万円、対前期11.8%減)、当期純利益899百万円(前期1,020百万円、対前期11.8%減)となり、前期比では減収減益となりました。

以上

2019年4～2020年3月 イベント分野別稼働実績

2019年度 実績		ショー コンサート	集会 式典	展示 物販	スポーツ	合計	稼働率 (%)
2019年4月 }	件数	81	18	5	10	114	91.8%
	日数	252	44	15	25	336	
2020年3月	本番日	160	15	10	15	200	(注)
	構成比	75.0%	13.1%	4.5%	7.4%	100.0%	

(参考)

対前年 同時期 増減数	件数	2	5	0	2	9	稼働率	2017年4月	
	日数	△5	11	0	△4	2		0.3%	}
	本番日	0	0	0	0	0			2018年3月
	構成比	-1.9%	3.2%	0.0%	-1.2%	0.0%			稼働率
2018年4月 }	件数	79	13	5	8	105	92.3%		
	日数	257	33	15	29	334			91.5%
	2019年3月	本番日	160	15	10	15			200
		構成比	76.9%	9.9%	4.5%	8.7%			100.0%

(注)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、2月末から3月にかけてのイベント中止分31日を含む。(一部無観客ライブや配信を実施)